高湿環境下でのシリコン窒化膜の表面酸化過程

Surface oxidation process of silicon nitride films under humid environment

三菱電機(株) 高周波光デバイス製作所 〇奥 友希 志賀俊彦 戸塚正裕 高木晋一

Mitsubishi Electric Corp., Otu, T. Shiga, M. Totsuka, S. Takagi

E-mail: Oku.Tomoki@ap.MitsubishiElectric.co.jp

はじめに: 欠陥濃度が高い SiN_x 膜の耐湿性の劣化原因は膜の酸化である[1]. 前報[2]では SiN_x 膜表面への一組の H_3O^+ ・ OH^- 付かいの1次攻撃による酸化反応の障壁を分子軌道計算で解析した.本報告では1次攻撃に続く2次攻撃による反応障壁を解析した.

計算: Fig. 1 に示す様に OH 終端した Si_3N_4 結晶にシリコン或いは 窒素欠陥を導入しタングリングボントを水素終端し、1 次攻撃で $=NH_2$ となった表面窒素を H_3O^+ の水素原子で、1 次攻撃しなかった深部 2 層目のシリコン原子を OH の酸素原子で攻撃した。計算した膜と 攻撃は 8 種類で、導入欠陥と攻撃サイの窒素・シリコンの構造を

Fig. 1 Second attack of H₃O⁺ and OH ion on the silicon nitride surface (Film No. 4).

Table. 1 に示す. まず, N-H 距離(d_{N-H}) 及び Si-O 距離(d_{Si-O})の関数として生成エネルギー \triangle E を MO-G (半経験的分子軌道法)で計算しポテンシャルエネルギー曲面を作成した. 次に, SiN $_x$ 膜表面から遠い位置(Middle Point)から Saddle

Point 経由で攻撃(Final State)までのエネ

ルギー曲面上の最小エネルギールートを反応ルートとした.

結果: Fig. 2 は 1 次及び 2 次の H_3O^+ ・OH I1ン攻撃による \triangle E の変化を示す。1 次攻撃では Film No. 6, 7 のみ発熱反応であるが,2 次攻撃では Film No. 3, 6 以外が発熱反応になり,Film No. 2, 5 以外が1次攻撃より反応障壁が小さく酸化反応は進行しやすい。逆に,Film No. 3 は攻撃サ小の窒素が 3 本の Si-N ボントで固定されているため吸熱反応となり,Film No. 2 は無欠陥であるため反応障壁が大きいと考えられる。また,Film No. 7 は SiH(OH)(=OH) $_2$ 形成に至り,Film No. 8 は NH $_3$ 脱離に至ることも分かった。

[1] T. Oku, et al., CS MANTECH Conference, May 19th -

1st attack 2nd attack Film Defect site H₃O⁺ attack OH attack H₃O⁺ attack OH attack No Defects N atom Layer Si atom Layer N atom Si atom Layer Layer Layer ≡SiNH₂ $-NH_2$ TM^{*} $=NH_2$ =NH 1st1st 3 \equiv NH 2nd 2nd ≡SiOH 1st Si 1st 5 ≡Si-2nd 3rd 6 =NH 2nd $=NH_2$ 2nd 7 2nd SiH(OH) Ν 1st 1st 3rd ≡SiOH

Table. 1 Calculated model of the SiN_x films with/without defects.

* TM : Termination

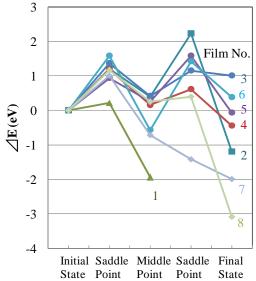


Fig. 2 Reaction barrier of surface oxidation for the SiN_x films with/without the defects.

22nd, 2014, Denver, Colorado, USA, P179. [2] 奥 他, 第 63 回応用物理学会春季講演会, 19p-P3-6 (2016).